

支笏湖 ローカルルール (仮称)

勉強会

11月4日(木)

15:00-17:00

千歳市立千歳公民館

〒066-0046 北海道千歳市真町176-3
(青葉公園内)

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。新型コロナウイルスの拡大状況によってはオンラインによる開催になる場合がございます。

近年の支笏湖の水面における利用集中、マナー悪化、ごみや船舶の放置、水難事故など、環境や利用者の安全、快適な利用への問題が顕在化しています。このような状況に対して、地域住民による温泉街周辺ローカルルールが策定(令和元年度)され、さらに発展的なローカルルールの検討が進められています。

こうした地域の取り組みをふまえ、支笏湖面適正利用のためのローカルルール策定の議論を深めるための勉強会を開催します。

先着 **100名** どなたでも
ご参加いただけます
※事前のお申し込みが必要です。

開催概要

参加費 無料

お申し込み

右の「お申し込み」QRコード ▶▶
もしくはEメールにて

件名に「支笏湖勉強会」とご記入の上、
①～③の内容を「お問合せ先メール」に
Eメールをお送りください。

①氏名 ②メールアドレス ③連絡先電話番号
④所属団体・勤務先 ⑤申込み人数

お問合せ

～メールでの参加申込みもこちらへ～
✉ info@live-kk.co.jp

☎ 011-213-1955

担当：川口 / 井部 (株式会社ライヴ環境計画)



Program

1. 支笏湖湖面利用の現状報告

北海道大学 水産科学研究院 国際教育室
助教 東条 斉興 氏

2. 自然レクリエーション地における ローカルルールとは ～事例から見るローカルルールの力

北海道大学大学院農学研究院
准教授 愛甲 哲也 氏

3. 支笏湖地域が感じる湖面利用の課題

一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会

● 講師紹介 ●

北海道大学 水産科学研究院 国際教育室 助教 東条 斉興 氏

水産分野での国際支援経験に基づき、特に沿岸生態系、沿岸資源と共生できる水産開発・協力・支援について研究、活動。また、国内・海外の沿岸地域での、持続可能な開発プロジェクトや、将来を考える地域水産コミュニティと研究調査、また関連した案件形成、助言を行い、協力・支援を始めている。

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲 哲也 氏

北海道内の自然公園と都市公園をフィールドに、環境心理学的・社会的アプローチで、公園の計画や管理に関わる問題の解決を目指した研究・活動を行っている。特に山岳性自然公園における登山道の崩壊とその管理方針の樹立における意見の調整、山岳地におけるし尿の散乱とその対策、自然公園の水域の適正利用などについて関心が高い。最近の研究トピックとしては都市近郊の自然公園の利用者のモニタリング、自然公園の公園計画のあり方を取り上げている。

主催：環境省 北海道地方環境事務所 支笏洞爺国立公園管理事務所